

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習 I		
担当教員	岡田 太		
対象学年	1年,2年	開講学期	前期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	DP2〔学識・専門技能〕 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（30％） DP3〔思考力・判断力・表現力〕 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力（50％） DP4〔主体性・多様性・協働性〕 多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力（20％）		
教員の実務経験	特になし。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために、必要な社会科学的研究手法を学び、学生が自らテーマを設定し、論文を執筆し、成果を発表するための指導を行います。本演習では、危機管理学、法学に関する研究手法の修得、テーマの探求、先行研究の評価、資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを扱います。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、意欲・経験・適正、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とします。 ■キーワード： 官民連携、災害危機管理、フィールドワーク		
授業の趣旨	■副題 企業と自治体が連携する災害危機管理の現状と課題についてのリサーチデザインの学修 ■授業の目的 官民連携の観点から災害危機管理の課題を抽出して仮説を構築し、フィールドワークやアンケート調査などを通じて検証し、実践的な問題解決を提起する一連の研究活動を行うために必要な準備を受講生自身が主体的に行うことが目的です。 ■授業のポイント 先行研究などを学習し、発表と議論を重ねることで研究の背景や目的、問題意識を醸成します。次に、研究方法としてフィールドワークやアンケート調査などのを学んだうえで、研究計画の作成と発表および検討を行います。		
総合到達目標	■仮説検証型の研究プロセスを修得し、それを実施するために必要な研究計画を適切に立案することができる。 ・官民連携における災害危機管理の現状を述べることができる。 ・官民連携における災害危機管理の課題を発見し、説明することができる。 ・官民連携における災害危機管理の課題に関して必要な情報を収集し、分析することができる。 ・官民連携における災害危機管理の課題から問題意識を明確にし、仮説を構築することができる。 ・仮説を検証するために必要な研究方法について理解し、説明することができる。 ■発表や議論を通じて、災害危機管理の学術研究に必要なリテラシーを身に着けることができる。 ・より高い水準のプレゼンテーションを行うことができる。 ・質疑応答や改善のためのアドバイスなどについて、より高い水準のコミュニケーションを行うことができる。		
成績評価方法	■授業内の発表など(80％) ・先行研究の発表（第2回、第4回、第6回）（30％）(DP2,3,4) ・研究計画（第10回、第15回）（20％）(DP2,3) ・官民連携における災害危機管理の現状と課題についての発表とレポート（第9回）（30％）(DP2,3,4) （評価の観点） 発表する内容についての的確な理解、表現技能やコミュニケーション能力について総合的に評価します。 （フィードバックの方法） 各自の研究発表後に、演習中に評価・議論を行います。 ■授業参加 ・発表に対するコメントや意見交換、質疑応答（20％）(DP4) （評価の観点） 発表者に気づきや改善を促すようなものであるかについて評価します。 （フィードバックの方法） 各自の研究発表後に、演習中に適宜評価を行います。		
履修条件	特になし。		
履修上の注意点	授業形態は講義と演習を組み合わせで行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業（例：オンラインでの聞き取り調査）を一部取り入れる場合があります。また、共同研究を希望する場合は相談してください。		

授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ P P P（官民連携）と企業と自治体の連携(1) ②授業概要 P P Pの概要を学びます（講義）(DP2)。 ③予習(120分) 長井(2022)をよく読む。 ④復習(120分) P P Pの概念を復習し、長井(2022)の具体例を通じて特徴や課題を学習する。
	2	①授業テーマ P P Pと企業と自治体の連携(2) ②授業概要 地域におけるP P Pの事例を紹介するとともに、企業と自治体が連携する危機管理への応用について検討します（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 長井(2022)から事例紹介を準備する。 ④復習(120分) 危機管理における企業と自治体との連携について整理し、他の文献を精読する。
	3	①授業テーマ 自治体と企業の包括連携協定(1) ②授業概要 企業と自治体の包括連携協定の動向や課題について学びます（講義）(DP2)。 ③予習(120分) 青木(2022)をよく読む。 ④復習(120分) 企業と自治体の包括連携協定の概要を整理し、青木(2022)の参考文献を精読する。
	4	①授業テーマ 自治体と企業の包括連携協定(2) ②授業概要 企業と自治体の災害危機管理をめぐる包括連携協定の現状と課題について検討します（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 日本防火・危機管理促進協会(2015)の概要についての発表を準備する。 ④復習(120分) 企業と自治体の災害危機管理をめぐる包括連携協定の現状と課題を整理し、参考文献を精読する。
	5	①授業テーマ B C Pをめぐる自治体と企業(1) ②授業概要 B C Pを題材に、企業と自治体が連携する災害危機管理研究の動向や課題について学びます（講義）(DP2)。 ③予習(120分) 本田(2021)をよく読む。 ④復習(120分) B C Pの現状と課題を整理し、本田(2021)を精読する。
	6	①授業テーマ B C Pをめぐる自治体と企業(2) ②授業概要 B C Pをめぐる企業と自治体が連携する危機管理を例に、その課題について検討します（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 本田(2021)の概要についての発表を準備する。 ④復習(120分) B C Pの現状と課題を整理し、参考文献を精読する。
	7	①授業テーマ 事例研究：「ぼうさいカフェ」 ②授業概要 ゲストを招へいし、ぼうさいカフェに対する説明と質疑応答、意見交換を行います(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 内閣府「防災カフェ」などにより事前学習を行う。 ④復習(120分) 「防災カフェ」の課題を理解し、解決策を検討する。
	8	①授業テーマ 防災テクノロジーをめぐる官民連携 ②授業概要 防災テクノロジーをめぐる官民連携における動向や課題について学びます（講義）(DP2)。 ③予習(120分) 内閣府のウェブサイトなどで取り組み事例を調べる。 ④復習(120分) 防災テクノロジーをめぐる官民連携の動向や課題を整理し、他の文献を精読する。
	9	①授業テーマ 官民連携における災害危機管理の現状と課題についてのまとめ ②授業概要 これまでの授業を振り返り、テーマについての発表と意見交換を通じて、官民連携における災害危機管理について問題意識を明確にします（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) これまでの学習をふまえてのプレゼンを準備する。 ④復習(120分) プレゼンをふまえてレポートを作成する。
	10	①授業テーマ 研究計画の作成（第1次）

	②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理の現状と課題について研究計画（第1次）を作成し、意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) これまでの学習などを参考に研究計画を作成し、発表に向けて準備する。 ④復習(120分) 研究計画（第1次）の修正と改善を行う。
11	①授業テーマ フィールドワーク(1) ②授業概要 フィールドワークの基礎について学びます（講義）(DP2)。 ③予習(120分) 村田ら編(2022)をよく読む。 ④復習(120分) フィールドワークの基礎を復習し、村田ら編(2022)を精読する。
12	①授業テーマ フィールドワーク(2) ②授業概要 フィールドワークの基礎について学びます（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 村田ら編(2022)の内容をまとめる。 ④復習(120分) フィールドワークの基礎を復習し、村田ら編(2022)を繰り返し学習する。
13	①授業テーマ アンケート調査(1) ②授業概要 アンケート調査の基礎について学ぶ（講義）(DP2)。 ③予習(120分) 内田(2022)をよく読む。 ④復習(120分) アンケート調査の基礎を復習し、内田(2022)を精読する。
14	①授業テーマ アンケート調査(2) ②授業概要 アンケート調査の基礎について学びます（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 内田(2022)の内容をまとめる。 ④復習(120分) アンケート調査の基礎を復習し、内田(2022)を繰り返し学習する。
15	①授業テーマ 研究計画の作成（第2次） ②授業概要 企業と自治体が連携する危機管理の現状と課題について研究計画（第2次）を作成し、意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) これまでの学習などを参考に研究計画を作成し、発表に向けて準備する。 ④復習(120分) 研究計画（第2次）の修正と改善を行う。
関連科目	「危機管理学研究演習Ⅱ（R5MR0030）」、「危機管理学研究演習Ⅲ（R5MR0031）」、「危機管理学研究演習Ⅳ（R5MR0032）」
教科書	使用しません。
参考書・参考URL	青木勝一(2022)「自治体と企業の包括連携協定に関する研究」『経営論集』Vol.8, No.3 https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/business/feature/journal/pdf/vol8/business_journal_vol8_03.pdf 内田治(2022)『アンケート調査の計画と解析』（日科技連） 内閣府「防災カフェ」https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kakusyu_gyoji/bousai-cafe/ 内閣府「第4節「防災×テクノロジー」の取組」『令和3年版防災白書』 https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r03/honbun/0b_2s_04_01.html 長井伸晃(2022)『自治体×民間のコラボで解決! 公務員のはじめての官民連携』（学陽書房） 日本防火・危機管理促進協会(2015)「地方自治体の災害対応業務における官民の連携方策に関する調査研究」 https://boukakiki.or.jp/crisis_management/H26chousa_houkoku.pdf 本田茂樹(2021)『待ったなし! BCP[事業継続計画]策定と見直しの実務必携-水害、地震、感染症から経営資源を守る』（経団連出版） 村田昌子ら編(2022)『フィールドワークの学び方—国際学生との協働からオンライン調査まで』（ナカニシヤ出版） その他、適宜、必要な文献を紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 授業の前後、質問や相談に応じます。それ以外の時間帯については、メールで事前にアポイントメントを取ることににより、原則オンラインで対応します。
研究比率	法学80% 危機管理学20%